

## パーティー用食器〔コンポ・プレート〕の試作研究

窯業指導所

工芸部 鷺野谷 昇 大津 好満

### 1. 諸言

アメニティタイムを捻出するニーズに、今、家事代行業が新しい市場となり、そのバリエーションも家事内外にも増えて来ている。

ホームパーティーを計画しても住宅事情等で、小道具や人数もやむなく制限され盛り上がりには欠けるし、今の形態のセット化されたコース・メニューでは、オリジナリティーが出せない……。

この様なニーズに対応したパーティー代行業を想定し、パーティー用食器〔コンポ・プレート〕の試作研究を試みた。

### 2. 内容

プレート6種、カップ・ティーカップ・ポットをタタラ成形による製作とした。

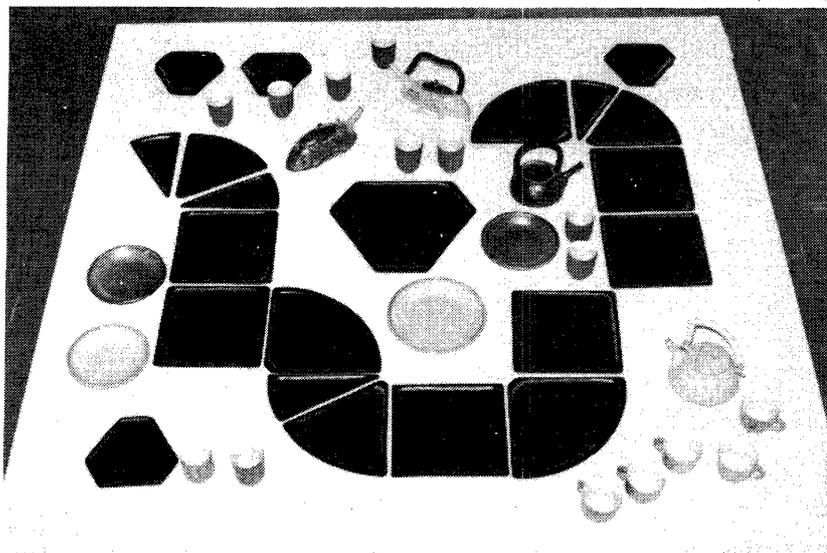
素地 笠間焼切土

成形 タタラ成形(石膏型併用)

釉薬 黒マット、白マット、茶マット、青マット、糠白釉

焼成 1260℃、酸化焼成、電気炉(30kw)

上絵付 絵具(赤、緑、青)、800℃焼付



### 3. 結 言

今回の試作研究は“パーティー代行業”（仮称）という起業提案をもとに試作を行った。

6種のプレートを人数に対して・メニューに応じてレイアウト可能(フリー・コンボ)とし、並べ方次第ではいろいろと楽しめる。また、陶磁器以外の素材での製品構成も考えられるだろう。

カラーバリエーションを広め、素材を増す事により、あたたかい料理・冷たい料理に合った器と料理と器の色合い等、おいしく食べる器の選択が出来る。

アメニティー社会の中で、様々な業態が生まれ、産業構造の変化も余儀なくされると思われる。物あまり、物あふれ時代になった今、地場産地にれいても、産地の個性・特性を再確認するとともに、同業他産地の個性・特性を尊重し、アメニティー社会到来に向けていかにプレゼンテーション出来るか産地全体で考える事が“今”行う課題の一つであろう。